

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 608 号	氏名	田中 貴之
学位審査委員		主 査	李 桃生
		副 査	永安 武
		副 査	中尾 一彦
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、小動物であるラットの膵液瘻モデルの創製を試み、再生医療を活用した筋芽細胞シートの局所貼付による膵液瘻の予防・治療の効果を明らかにするもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 膵液瘻モデルの確立としては、ラット膵管の解剖学的分枝(gastric, duodenal, common, splenic duct)ごとに切離し、ラットの生存状況、腹水中アミラーゼとリパーゼの濃度、および腹腔内局所肉眼所見を経時的に調べ、膵液瘻の程度を比較検討した。また、splenic duct を切離した膵液瘻モデルに対して、ラット由来筋芽細胞シートを膵管の切離断端へ貼付し、膵液瘻の予防・治療効果について、ラットの生存、腹水中アミラーゼとリパーゼの濃度、組織学的所見を詳しく解析した。これらの研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、splenic duct を切離したラット膵液瘻の短期観察モデルとしての研究利用は適切であり、このラット膵液瘻モデルに対する筋芽細胞シートの貼付は、生存の改善、膵液瘻の軽減、局所炎症の抑制などの面において有用であることを証明した。これにより、今後の様々な外科手術合併症に対する、細胞シート治療の研究開発と臨床応用への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように、本論文は外科手術合併症の予防・治療研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			